

左京西部

いきいき通信

vol. 8

おまつり おんこちしん 温故知新

左京西部いきいき市民活動センターでは春に続いて、夏にも「おまつり」の開催を予定しています。その「おまつり」では、地域のシニア世代には馴染み深い「江州音頭」や若い学生とともに作りあげる、ユニークな企画を思案中です。テーマは題して「温故知新」。本号では、その「おまつり」実現に向けてのプロセスを一部ご紹介します。

「出だし」や「節回し」が特徴的な江州音頭。唄の内容は分からなくても、この「語り」のような歌詞は耳に残ります。

- 音頭取り 「あ、こりゃどっこいせ〜」
囃子 「こら、しっかりせ〜」
- 音頭取り 「ええみ〜い〜な〜さ〜ま た〜の〜み〜まあ〜す」
囃子 「そら、どっこいしょ」
- 音頭取り 「あ〜これから〜よ〜いやせ〜と声〜掛けた〜の〜み〜ます〜」
囃子 「あ〜よいやさあ〜のせの〜どっこいさあ〜のせい」
- 音頭取り 「え〜さては〜この場〜の皆さんや〜」
囃子 「あらどしたい」

「江州音頭」の歴史

元来は滋賀県の民謡で、長編の盆踊り唄。その源を辿ると、奈良・平安の時代にさかのぼりますが、京阪神地方に伝わったのは明治初期のころ。祭文語りの修行をした桜川大竜という人が唄いはじめて広めたそうです。

養正地区に住む、シニア世代の方に「江州音頭」について聞きました。

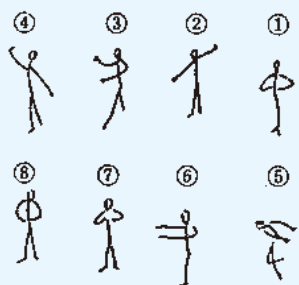
昔(約50年前)はな、風呂(養正浴場)の横にある公園で5~6mぐらいのやぐらを立てて、そこに音頭取りが5人ほどが上って代わりばんこに唄やら太鼓やらで音頭を取るんや。音頭取りは、年いってて人が必ずやってたな。よそから呼ぶとお金が沢山かかるけど、音頭取りが重要でな。その江州音頭も団地が建ち始めてからだんだんなくなってしまっ、あと、音頭取りを受け継ぐ人もいなくなって無くなってしまった。当時は、夜中1時ぐらいまで踊ってたんやで。楽しかったなあ。



RESEARCH 「江州音頭ってどんなの？」

「踊ってみよう！」

実際に踊ってみないと、楽しさは分からない。振り方は簡単。慣れたら自分流の「くずし」も!



- ①円心に向いて、胸前でチョンと手拍子
- ②右足を一步斜前に。同時に右手は肩の高さ、左手は上に。
- ③右足を円周上に踏み変え、左足を一步出す。
- ④手は先ほどとは逆に、左手は肩の高さ、右手をかざす。
- ⑤右足に体重を移し左足を蹴ると同時に両手を振り下ろす。
- ⑥左足を右足に揃え、両手を肩の高さに戻す。
- ⑦左足から二歩歩き、円心向きとなり、胸前でチョン(⑧繰返)

上図：「郷土民謡「江州音頭」の歴史的考察とその改善」より参照

TALK 「企画会議」あったらいいな、こんなおまつり〜

森 今日、夏の「おまつり」を一緒につくろうということで、実行委員の皆さんに集ってもらいました。まず、どんな「おまつり」が良いアイデアを出す前に、子どもたちにとってのおまつりのイメージがどのようなものなのか、養正保育所の子どもたちに描いてもらった絵を見ながら、地域に開かれた「おまつり」とは何かを探りましょう。



森 保育所の先生によると、この2枚はおみこしの絵なんだそうです。

神田 あ、なるほど!

神田 じゃあ、おみこしみたいなお宝珠に子どもたちの作品を貼って飾るっていうのはどうですか?

全員 うんうん。

神田 子どもがおみこし自体をつくら持ったりすると危ないかもしれないし、それなら絵を貼ってみるのはどうかなって。子どもたちのなかにおみこしのイメージがあるなら楽しんでもらえそうなのがします。

森 僕のほうでは、オーブンゲセルモノーじゃないけど、チンドン屋みたいに子どもたちと学生でおみこしを担いで地域を歩くのはどうかなと思ってただけ。

沢 そういえば七夕のときにはいつも担いで歩いてるね。小さめのおみこしつくって、先生がかけ声かけて「わっしょい、わっしょい」って。

森 じゃあそのおみこしを貸していただけじゃないか、保育所の先生方にも相談してみましようか。

神田 いいですね。

森 そしてこれは下鴨神社のおまつりの絵です。どうして下鴨神社のおまつりが印象に残ったんでしょうか。

神田 下鴨神社ってあまりごちゃごちゃしてないし、参道がまっすぐだから露店もまっすぐ見えやすいね。それが印象的だったんじゃないですかね。

森 たしかに、いわれてみれば絵の構図がそれを表現してますよね。普通は道を横向きに描くような気がするんだけど、それを縦に描くって大胆。やっぱり下鴨神社のあの参道がそう感じさせるのかな。

島 そうでしょうね。しかもお祭りの夜は明かりが露店にしかないし、参道の横は竹林じゃないですか。だから子どもたちの視線から見るとすごく幻想的に見えるんじゃないかと思えます。

全員 うんうん。

森 そうか。あの参道は僕らが見ていると高さを感じるけど、子どもたちはもともと高く感じているのかもしれないですね。

島 きっとそうだと思います。

沢 屋台もいいよね、おまつりっぽくなって。かき氷とか夏らしいし。

森 この参道の続きの風景も気になりますね。

島 きっとにぎやかな感じでしょうね。

沢 この屋台は何だろう、イカ焼きかな。

森 いやこれは人だと思えます。

沢 人が鉄板の上に横たわって……

森 焼かないでください(笑)

神田 瑞木さん

大阪国際大学生。演劇をつかった社会との関わりを模索中。

沢大洋

当センター職員。前回の「おまつり」担当で、いっせん園芸部・部長。

森陽平

4月よりセンター勤務。各地でアートと地域を結ぶプロジェクトに携わる。



島あやさん

京都精華大学生。左京区で生まれ育った地元っ子。

利用者さんにも聞きました。

「あなたにとってお祭りとは？」

共に楽しむこと (64歳・男) / 映画 (23歳・男) / 感性を養う所 (26歳・男) / 焼肉パーティー (19歳・男) / 炭釜ぶし、小学校の頃の思い出 (65歳・男) / 現実から逃避し、気分をリフレッシュさせるための大事なもの (23歳・女) / 向かっていて燃え尽きるもの (27歳・女) / 金魚とのお別れの場 (17歳・学生) / みこし、夜店、ちょうちん、たいこ (61歳・男) / 私たちが子どもの頃は、村の祭り、収穫祭の祭りぐらいいか無かった。祭りは地域の生産活動や伝統的な生活様式と結びついていた。祭りは、大衆の気持ちを継承し、鼓舞するものだと思います (60代・男) / ハッピー♡ (20歳・学生) / 気持ちをおぎなうもの (72歳・男)

当センターを“花”のある施設に！と、「いきセン園芸部」ができました。見よう見まねで始めた土づくりと種まき。まずは、好調なスタートに！？

園芸豆知識

「シャクナゲのお手入れ」

高齢者ふれあいサロンのお庭にシャクナゲの木があります(A)。背丈が高いため「尺が長い」それでシャクナゲ？と思ったぐらいです。どうも手入れが行き届いていなかったようです。春に新芽が付いた時に、芽かきをします。芽は3～5つほど付いて(B)、真ん中のものだけがグリーンと伸びてゆくの、真ん中の芽を手で摘むのです(C)。そうすることで樹形が整い、花が付きやすくなるそうです。秋には枝を切ってあげて、もう少しいい形にしていこうと思います。



A

B

C

一緒に花を育てませんか？土づくり、花の水やり、そして秋には何を育てるか考えましょう。

部員募集

いきセン
園芸部

園芸日記

種まき編



アスターは3日ほどで発芽しましたが、インパチエンスの種は好光性。芽が出なかったこともあり、たまにベランダに出して太陽にあててやりました。



3週間もすればこんなに立派に。普段はチラシ置き場となっている棚に緑が映え、センターもフレッシュな空間に。



5月中旬、いよいよ牛乳パックに移し替えました。ここで立派な苗に育ててから、花壇や鉢に移し替えていきます。開花をどうぞお楽しみに！



4月上旬、種まきを開始。卵パックを集め苗床作成。パックの一方に土を。もう一方には水を。上のパックには小さな穴があり、下のパックの水を吸い上げるというわけです。ガーベラ、アスター、インパチエンスの種を植えました。



今回はセンターだけでなく、お向かいの「高齢者ふれあいサロン」でも花を育てることに。ここでは、ヒマワリ、アサガオのラインナップも。利用者さんがサロンに来てまずすることは、芽が出ていないか確認すること。そして水やり。ちょっとしたブームになっていますよ。



耐震工事実施のお知らせ

当センターでは7月20日より耐震工事が始まります。工事期間中は下記の施設をご利用いただくことができなくなります。また、日中は工事による騒音や振動が発生する場合がございます。当センターをご利用いただいている皆様ならびに近隣にお住まいの皆様には多大なご不便・ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解のほどよろしくお願いたします。

【工事期間】

2013年7月20日～11月末(予定)

【ご利用いただけない施設】

会議室1の一部(1/3程度)・会議室2・会議室3

*会議室1の一部(2/3程度)と和室につきましては工事期間中も引き続きご利用いただけます。

参加募集

◎シニア向け演劇体験講座

やってみよう編(全5回/2クラス開講)

日時:7月24日～8月21日 毎週水曜日
(A:13:30～15:30)(B:16:30～18:30)

スキルアップ編(全8回/2クラス開講)

日時:8月26日～10月14日
(A:毎週月曜日13:00～15:00)(B:毎週水曜日17:00～19:00)

対象:50歳以上の方(経験不問)

料金:やってみよう編:4500円/スキルアップ編:7200円

◎親子のためのヨガ講座

日時:7月～9月の第1日曜日10:30～11:30

対象:未就学児3才～5才とお母さん、お父さん

料金:一回1,200円(親子) *1人追加ごとに+300円

◎シニアのためのヨガ講座

日時:7月～9月の第1日曜日13:30～15:00

対象:60歳以上の方

料金:1,000円

受付:開講日の1ヶ月前10:00より先着順にて受付

今後のイベント

◎野菜市

日時:毎月第2土曜日10:00～12:00(売切次第終了)

場所:養正市営住宅9棟1階 田代書店の横

◎養正田中 みんなのおまつり(*表の特集記事参照)

日時:2013年8月24日(日)

場所:高齢者ふれあいサロン

い
き
い
き
こ
ら
む

センター長・杉山準の

当センターでは、種から花を育てています。今年はそうした作業をセンターに来て下さっている皆さんとも共有しようと、目につく所に種を植えたパックと水やりの道具を置きました。とても興味を持って下さったのは、高齢者ふれあいサロンを利用頂いている男性の皆さんでした。カラオケで歌ったり、おしゃべりしたり、にぎやかな女性陣とは対照的に、どちらかと言うと寡黙な男性方が成長を気にかけて下さり、植え替えのことや、次に何を撒くのがいいかなど新たな話題が生まれています。芽の植え替えにも積極的に関わって来て下さり、いきいきと作業して下さいました。こうしたことで会話がはずんだり、やりがいが増すのは、とても嬉しいことです。ということで、夏にはたくさんの朝顔やゴーヤが私たちの目を楽しませてくれそうです。「今度は野菜を育てて、朝市で売ろか！」と夢も膨らんでいます。